

プレスリリース [2022年8月31日]

(計1枚)

コロナ禍における町田市への転入者の変化 ～30代以下ファミリーの転入が増加！～

—アフターコロナにおけるこれからの郊外都市のあり方に関する調査研究—

未来づくり研究所（所長 市川 宏雄）は、新型コロナウイルス感染症をきっかけとして加速度的に変化した状況を調査・分析し、いわゆる「アフターコロナ」において郊外都市に求められる都市機能・公共サービスなどについて調査研究を行っています。

この度、その一環として「町田市転入者アンケート調査」を実施しました。この調査では、コロナ禍の中で町田市に転入した人のきっかけや重視する点などを把握するとともに、コロナ前の同調査（2018年実施）と比較し、転入者の変化を分析しました。

今回の調査結果から考える、転入者の変化は以下のとおりです。

コロナ禍によりテレワークが進んだことで通勤の頻度が減り、住環境にこだわった暮らしのできる住宅を求め、「子供の誕生」や「子育て」などをきっかけに引っ越しを検討する30代ファミリーが、町田市の「日常生活の利便性」「子育て環境」「価格」などに魅力を感じ転入してきた

詳細は、記者BOX内の資料をご覧ください。

また、調査結果等の詳細は町田市ホームページにも掲載しています。

<https://www.city.machida.tokyo.jp/shisei/miraidukurikenkyujo/katudounaiyou/after-covid19/tennyuusyaanketokekka.html>

■ 本件に関するお問い合わせ先

政策経営部 企画政策課 政策研究担当課長 山田 TEL 042-724-2103